

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年10月11日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	佐渡市	代表者名	渡辺 竜五		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0259-63-5139		
担当者役職	主事	担当者氏名	長谷川 博也	連絡先E-mail	
住所	952-1292 新潟県佐渡市千種232番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	千葉 大右
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本市が支援を求めるBPRの取組について、どのような研修を行うべきか、他自治体での取組事例等を参考に分かりやすくアドバイスいただき、職員がBPRの必要性について理解するきっかけとなる研修が実施できると感じている。
アドバイザーへの要望事項	要望なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年8月17日	事前打合せ（オンライン）	有	令和4年10月17日	314
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年10月3日	事前打合せ（オンライン）	15時00分	17時00分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	佐渡市役所	最寄駅	佐渡汽船両津港	
	所在地	新潟県佐渡市千種232番地	最寄駅からの交通手段	公用車による送迎	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	適切な職員数の配置見直しや多様な行政サービスへの対応のためにはBPRが必須であると捉えているが、BPRの進め方やノウハウを体系的に習得できるセミナー等を見つけることができていない。各部門の職員においては、担当業務の改善・効率化に対する意識はあるものの、日々の業務に追われていることもあり、実践に向けた意識付けや進め方の習得が難しい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	BPRについての理解と必要性を職員が理解するきっかけとなることを目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	BPRの必要性を職員が理解できるような研修の実施について相談し、講演及び窓口体験調査の実施、ワークショップの開催を計画することとなった。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	デジタルの側面で業務改善を図っていこうと考えていたが、まずはアナログな手続きから改善していくという視点の重要性を理解できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 特になし。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打合せのため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	BPRの必要性・意識変革が庁内に浸透し、恒久的に各部門において業務改善・改革が遂行されている	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

窓口体験調査.pdf - Adobe Acrobat Reader DC (64-bit)

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 署名(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ホーム ツール デジタル政策推進... 窓口体験調査.pdf x

4 / 8 72.0%

体験方法

自らの窓口サービスの現状を調査せよ!

利用者(住民)になりきって、市役所の窓口を体験調査すべし!

利用者(住民)が、どのように行動し、何を見て、何を思うかを追いかけ、課題や改善点をリアルに探るのが本調査の目的です。

それに対して、職員側がどのような事務処理になっているかも調査し、課題や改善点を探してください。

結果を資料にまとめて共有します。

<利用者側>

- ・事前に下調べはしないこと!
(実際に手続きが発生したときに、どのようにリアルに動くかのシチュエーションで行います。)

<職員側>

- ・実際の来庁者が来たときと同じように対応してください。
(システムに入力する場合は本番系に入力しないように)

Photo:北見市役所(2022年)

